

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく()にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

もっ とい 未来を

神山小学校六年 岩川 心莉

「あー寒いし、つかれたし、もういやだよ」

私は宿泊学習でヤクスギランドに行った。山

の方は標高が高いのですごく寒くて歩くのも

大変だった。と中で雨もふってきてすべりや

すかった。みんながイドさんの話をよく聞い

た。ガイドさんが

「この屋久杉は、一〇〇〇年以上も生きてい

るんだよ。そして、なりの木は、ヒメシヤラ

と いうんだよ」

と 教えてくれた。本当に屋久島には、歴史の

ある木やたくさん種類の木があると感じた。

そして、それと同時に私は思ったことがあっ

た。

「こんな屋久島には自然があるのに、なぜ

都会にはないんだろう」

と 思った。私は少しこわくなった。それは、

「これから未来が、都会のようにな、自然がな

いのが当たり前のようにな、ヤクスギラン

- 4 、と。は、それぞれ一字にかえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくの二にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

(月 日 曜日)

どの自然もほとんどなくなつて屋久杉もなく
 なるのでほい。そこでこれから、私たちや社
 会のできることはないかと考えた。
 まず一つ目は、建物を建てすぎて緑をつぶ
 さないことだ。建物を建てすぎると自然の一
 部が土地として使われってしまうからだ。もち
 ろん必要な建物もあるだろうから、今、切り
 ひらかれた土地をうまく利用すればいいと思
 う。二つ目は、植林をもっとたくさん行うこ
 とだ。植林は、どこか一部のところしかして
 ないけれど、日本どこでも植林をすべきだと
 思う。それぞれの地域の子ども会などで植林
 をする時期を決め毎年みんなでやったらもっ
 と自然豊かになると思う。
 私ほこれからヤクスタキランドの緑がもっ
 増えてほしいと願う。それだけではなく、観
 光客や屋久島の人みんなが
 屋久島は、やっぱり自然豊か
 といえるようにしたい。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)

